

第9回 自死予防研修会

臨床心理士はクライアントの自死にいかに向き合えるか

開催日時 : 2022年10月22日(土) 10:00~16:10
企画委員会 : 自死予防専門委員会
開催方法 : オンライン開催

※この研修会は午後はグループワークとなります。(p.3ご参照)
申込時に「自由記入欄」に、第1希望から第3希望までの参加希望グループを必ず記載してください。

◆企画主旨◆

臨床心理士の多くは、仕事を積み重ねていくうちに、死にたいと漏らすクライアントや、自殺を企図するクライアントに出会う。このように自ら死に接近するクライアントに対して、安易に「気持ちは分かります」などと言うことは憚られるだろうし、過去を振り返って「あのときはこう言えばよかったんだ」とか、文献を読んで「こういうクライアントにはこうすればよいのだ」などと、断定的に言うこともできないように思われる。私たちはただ互いの経験を持ち寄り、眼前のクライアントにどう対応するかを共に模索するしかないのかもしれない。

今回の研修会では、この問題に取り組んできた各委員が言葉を紡ぐ。

みなさんもこの機会に互いの想いを語りあい、共に「臨床の知」を深めていきませんか。

主催

一般社団法人 日本臨床心理士会

◆ 開催内容

午前の部 (10:00～12:40)

10:00～11:00	テーマ	クライアントの自死は臨床心理士にどのような影響をもたらすのか
	講師	勝又陽太郎 (東京都立大学/副委員長)
	内容	テーマに沿って講演
11:10～12:40	講師	自死予防専門委員会 勝又 陽太郎 (前出) 倉光 修 (放送大学/委員長) 大塚 尚 (東京大学/委員) 西牧 万佐子 (山王教育研究所/委員) 巽 葉子 (大阪府教育庁/委員) 高橋 あすみ (北星学園大学/協力委員) 高井 美智子 (埼玉医科大学/協力委員)
	内容	勝又講師の講演より各委員が感じたことや考えたことを述べ、勝又講師が応える
12:40～13:30	<< お 昼 休 み >>	

※午後はグループワークとなります。次頁をご確認のうえ、申込時に自由記入欄に、第1希望から第3希望までの参加希望グループを必ず記載してください。

午後の部① (13:30～15:00)

13:30～15:00



テーマ	死を願うクライアントに臨床心理士としていかに向き合うか
内容	午前中のシンポジウムを受けて、ブレイクアウトルームで、少人数に分かれて話し合う。委員がそれぞれ下記の6つのグループでファシリテートする。
グループ1	自殺・自傷に関する地域支援・地域連携：自殺対策事業への協力、個別ケース支援における多職種連携、組織におけるポストベンションなど、地域の自殺予防活動に臨床心理士としてどうかかわるかについて考える。（勝又陽太郎）
グループ2	死にたい思いに出会う、ということ：自殺の危機に晒されているところは、何を求めているのだろうか。臨床家としてその危機に出会う時、私たちはそれとどう向き合えばよいのだろうか。答えのない、大切なテーマについて考え、話し合う（大塚尚・西牧万佐子）
グループ3	学校現場における自殺予防と自殺が起きた場合の緊急支援：学校組織としての自殺予防の取り組み、教育相談体制の充実、また個々の児童生徒のSOSをどう受けとめるのか、自殺が起きた場合は学校をどう支援するのかをSCの役割を中心に考える。（巽葉子）
グループ4	自死にまつわる臨床に携わるために、自分の内側にある自死に対する態度やスティグマ、その背景にある自らの自死や死に関する体験などを自覚することは大切である。このグループでは自身の自死に向き合う心について考え、共有する。（高橋あすみ）
グループ5	病院内の自殺予防と事後対応～所属機関等で行っている取り組み（組織的なものから個人的なものまで）や経験（高井美智子）
グループ6	自死を考えたクライアント、自死を試みたクライアント、自死を遂げたクライアントに想いをはせる。尊厳死や殉死について言及してもよい。発言者を批判しないエンカウンターグループの形をとりたい（倉光修）

午後の部② (15:10～16:10)

15:10～16:10	講 師	自死予防専門委員会 (前出)
	内 容	ブレイクアウトルームで話し合ったことを各講師がまとめ、参加者全員で質疑応答し、共有する

※ 開催内容は変更されることがありますのでご了承ください。

全てのオンライン研修・受講していただき、受講合計時間が5時間以上となった方は資格更新ポイントの付与対象者となります。

◆ オンライン研修会（Zoom）申込時の注意事項（1）

- ・当研修会は、Zoomというツールを使用します。Zoomミーティングを経験されている方を対象にしています。Zoomの使用方法やビデオ・マイクの操作を理解していることが必要です。なお、当会では、Zoomや機材に関するお問合せには対応いたしかねます。
- ・ パソコンもしくはタブレットでの参加をお願いします。
スマートフォンでの参加も可能ですが、資料を画面共有した際に文字が見えにくい場合等があり推奨しません。
- ・有線または無線ブロードバンド回線、ビデオ・マイク（内蔵もしくは外付け）が必須となります。
- ・当研修会は、資格更新ポイントの付与を前提としていることから、ビデオは常に「オン」の状態を受講いただきます。当研修会のZoomはフォーカスモードを使用していますので、事務局では参加者のビデオ画面は見えますが、参加者は別の参加者のビデオ画面が見えません。
- ・また、マイクは通常「ミュート」とし、必要に応じて「ミュート」を解除していただきます。
- ・参加者のパソコン等の性能（CPU等）やインターネット接続回線（Wi-Fi電波が弱いなど）によっては、正常に受講いただけない場合があります。必ず、事前にご確認ください。
参加者の機器やインターネット接続、環境を原因とするトラブルなどが発生した場合には、オンライン研修会・開催中の対応はできません。

◆ オンライン研修会（Zoom）申込時の注意事項（2）

- ・初めて Zoom を利用する方は、Zoom アプリケーションをインストールしてください。
https://zoom.us/download#client_4meeting
また、アプリケーションインストール後に1度接続テストをしてみてください。
<https://zoom.us/test>
- ・Zoomのシステム要件は、[こちら](#)を参照ください。
- ・参加するだけならば、Zoomアカウントの登録は不要です。
- ・研修会当日に、Zoomのシステムや当会に起因するトラブルが原因で中断・中止した場合、時間の延長・別日程での開催のいずれかの対応を行います。
なお、当会はそれによって生じる損失の責任を負うことはできません。
- ・受講者1名につき1端末で参加してください。複数端末で受講されていることが確認された場合、強制退出していただくことがあります。
- ・1名分の申込みでの複数名の聴講は禁止します。
- ・参加者による録音・録画は如何なる場合も禁止します。

◆ 申込から参加までの流れ

- ・ 申込が完了した時点で、申込時に入力されたメールアドレスあてに研修会お申込み自動返信メールが届きます。自動返信メールには、付番された研修会・講座番号、受付番号や申込時の入力内容が記載されるとともに、参加費のお支払い方法等をお知らせしています。
なお、事前登録が完了するまでメールを保管してください。
- ・ お申込みから1週間以内に参加費を指定の口座にお振込みください。
- ・ 参加費のお振込みが当会に通知されるまでには、4営業日ほどを要します。
- ・ 参加費の振込みが確認された後、「オンライン研修会参加のための事前登録のお願い」のメールをお送りします。オンライン研修会参加のためのZoom事前登録を行っていただく必要がありますので、メールに記載されている期日までに事前登録の手続きをお願いします。
- ・ 事前登録を行っていただくと、数日以内に「招待メール」が届きます。
この「招待メール」に記載の手順により当日オンライン研修会に参加していただくこととなりますので、研修会が終了するまでメールを保管してください。
- ・ 研修会開催日の1営業日前を目処に「招待メール」を再送信いたします。
先の「招待メール」を紛失した場合は、こちらを使用して当日ご参加ください。

※研修会を受講するにあたって、一部のメールが迷惑メールに入る事があります。
事前に下記メールアドレスを迷惑メールに入らない様に設定をお願いします。

- ・ no-reply@zoom.us
- ・ kouza@jscpp.jp